

# 人事給与自動連動について

SCY2203

本書では、『PCA 給与シリーズ』『PCA 人事管理シリーズ』間の自動連動に関する操作方法、注意事項などを説明しています。

「PCA 給与シリーズ マニュアル」「PCA 人事管理シリーズ マニュアル」とあわせてご覧ください。

## 注意・制限事項



以下、『PCA 給与シリーズ』『PCA 人事管理シリーズ』をPCA給与、PCA人事管理と記載します。

PCA給与、PCA人事管理共にVer1.00 Rev2.00から自動連動に対応しています。

### ○運用開始時の制限事項

- PCA給与、PCA人事管理の両製品（または、連携プログラム）を、同一PCにインストールしておく必要があります。
- PCA給与、PCA人事管理の一方がクラウド版、他方がオンプレミス版の場合は自動連動できません。
- 共にクラウド版の場合でも、使用する区画が異なる場合は自動連動できません。
- 共にオンプレミス版の場合でも、接続するデータベースが異なる場合は自動連動できません。
- 自動連動を開始するには、領域責任者が自動連動の設定をする必要があります。
- PCA給与1領域に対してPCA人事管理1領域で自動連動をすることができます。

### ○運用中の制限事項

- 一方の製品が古く、他方の製品のみ最新のプログラムがインストールされている場合は自動連動できなくなる場合があります。ダウンロードサービス等をご利用いただき、両製品共に最新のプログラムを保つことをお勧めします。
- PCA給与で年次更新をした場合は、PCA給与の最新年度のデータ領域と自動連動します。
- 一方の製品のみインストールされている環境で連動項目を変更した場合、他方の製品へは即時反映されません。両製品がインストールされている環境で連動データの同期が必要になります。
- 社員マスターの連動項目のうちいずれか1つでも、PCA人事管理の管理項目レベルで参照制限されている場合は、その領域ユーザーでは社員マスターを編集できません。

## 目次

概要.....	2
◇運用開始までの流れ.....	2
◆基本仕様 .....	3
◆データ連動イメージ.....	6
◆マスターごとの連動について .....	9
操作手順.....	13
◆自動連動セットアップ前の確認.....	13
◆自動連動セットアップ .....	13
設定する項目 .....	15
◆連動データの同期 .....	16
社員の関連付けについて .....	18
◆予約データについて.....	20
予約データの適用時期について.....	20
予約データを反映するには .....	21
排他処理について .....	23
自動連動Q&A(こんな場合には) .....	24

# 概要

## ◆運用開始までの流れ

自動連動の運用開始の流れは以下の通りです。

### 1. 自動連動を行うマスターを決める

会社基本情報、役職、給与体系・支給控除名、部門、社員情報から、自動連動の対象とするマスターを決めます(「連動項目一覧」P.11 参照)。



### 2. マスターの内容を揃える

PCA給与、PCA人事管理のデータの受入処理\*などを利用して、マスターの内容をある程度揃えておくと効率的に進められます。

- \* PCA給与の「随時」－「人事連動」－「人事データの受入」
- PCA人事管理の「随時」－「給与連動」－「給与データの受入」



### 3. 自動連動を有効にする .....P.13

連動設定処理\*で自動連動を有効にし、自動連動に関する各種設定を行います。

\*連動設定処理とは、PCA給与では「随時」－「人事連動」－「人事連動設定」、PCA人事管理では「随時」－「給与連動」－「給与連動設定」の処理です。

自動連動を開始する条件(「マスターの条件・制限事項」P.4 参照)を満たしていない場合は、マスターの修正が必要です。



### 4. 自動連動セットアップを実行 .....P.13



### 5. 連動データの同期を実行(必要な場合のみ) .....P.16

## ◆基本仕様

自動連動の基本仕様は以下の通りです。

◇同一のシステム領域を使用します。

※PCA給与の最新年度のデータ領域とPCA人事管理の領域を自動連動の対象とします。

◇自動連動の対象となるマスター

○会社基本情報

○役職

○給与体系・支給控除名

○部門

○社員情報(基本情報、顔写真、就労情報、所属情報、住所、住所地図、給与データ、  
社会保険・雇用保険、家族)

詳細な連動内容は、後記の「マスターごとの連動について」P.9の該当部分をご覧ください。  
特定のマスターの自動連動を有効にするときに、他のマスターも自動連動を有効にする必要があります。

自動連動を有効にするマスター	自動連動を有効にする必要があるマスター
部門	給与体系・支給控除名
社員－顔写真、就労情報、住所、住所地図、社会保険・雇用保険、家族	社員－基本情報
社員－所属情報	社員－基本情報、役職、部門
社員－給与データ	社員－基本情報、給与体系・支給控除名

◇自動連動対象外

以下のデータについては、PCA給与のみ、またはPCA人事管理のみで管理することができます。

○社員

退職者、出向、転籍、派遣等で、給与の支払いがない社員等について、PCA人事管理のみで管理する場合

※PCA給与では、年次更新時に翌年の支払いがない退職者については、削除されます。

※自動連動対象外になっている社員を連動対象に変更するには、PCA人事管理の「随時」－「給与連動」－「給与連動設定」の「自動連動対象社員の設定」タブで、自動連動の対象として反映します。

○家族

死亡年月日が入力されている家族について、PCA人事管理で管理する場合

※PCA給与では、年次更新時に年内に死亡している家族が削除されます。

PCA人事管理で、配偶者を複数管理する場合

※PCA人事管理で給与連動にチェックが付いている配偶者が連動対象になります。

○部門

期中の組織変更によりPCA人事管理の最新使用期間で部門を削除する場合

※PCA給与ではその部門が社員データ、月次データ、会計転送データ、社員予約データで使われていた場合、「自動連動対象外」の部門として登録されます。

## ◇マスターの条件・制限事項

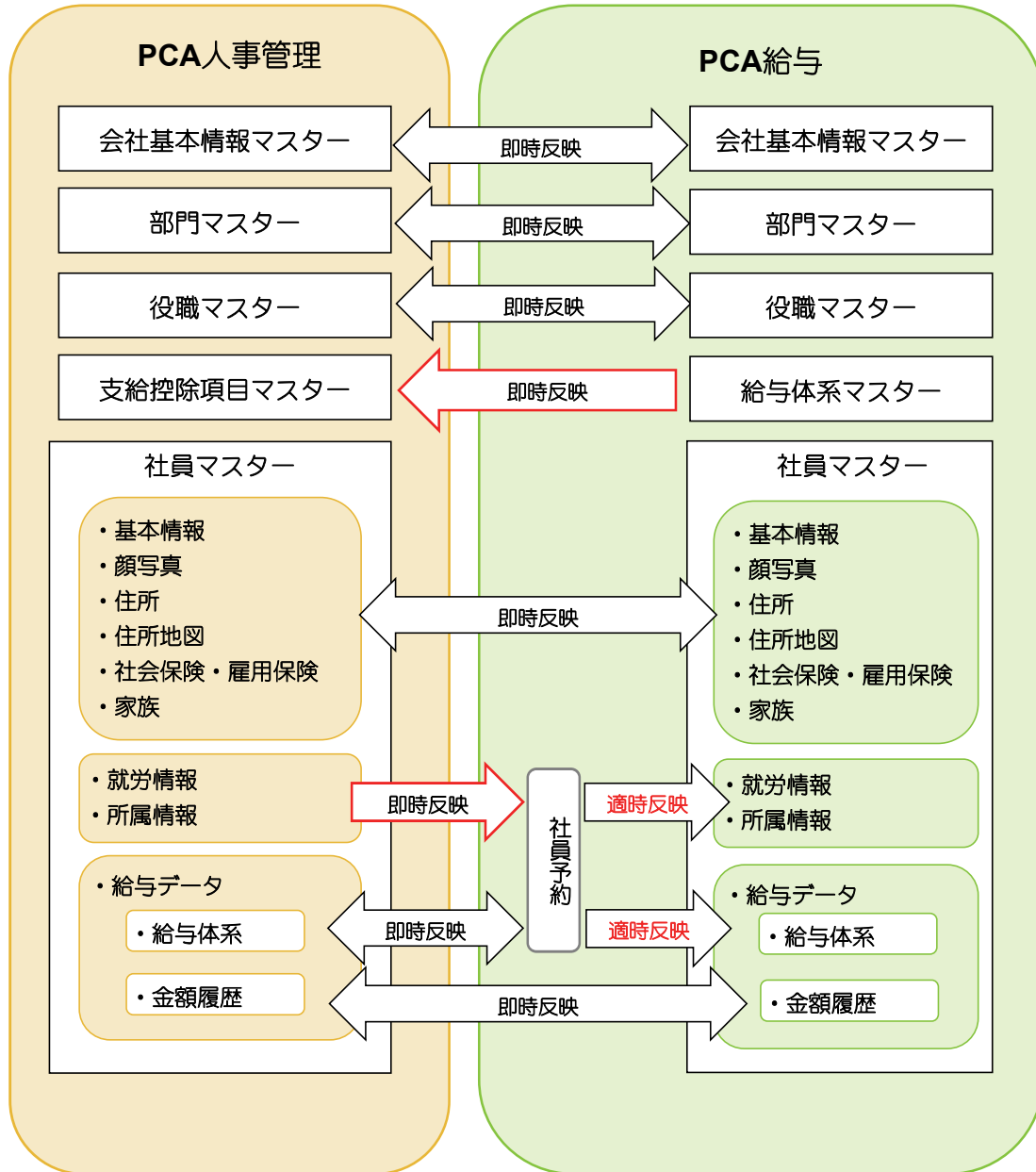
自動連動を有効に設定する場合には、以下の条件・制限を満たす必要があります。

連動マスター	条件	
	PCA給与	PCA人事管理
会社基本情報	会社基本情報の部門コード桁数、社員コード桁数が一致している。	
役職		コード「999」の役職が存在しない。 ※手動連動(「随時」-「給与連動」-「給与データの受入」)で、PCA給与から役職を受け入れた場合は「999」の役職が存在している場合があります。ご注意ください。
給与体系・支給控除名	コード「000」の給与体系が必要。	PCA人事管理のみに登録されている給与体系が存在しない。
部門	会社基本情報の部門コード桁数が一致している。	
	「役員」に該当する、以下の条件の部門が必要。 ・第一階層の部門である。 ・コードのすべての桁が「9」である。例) 999 ・子部門が存在しない。	
社員 - 就労情報		<ul style="list-style-type: none"> <li>・休職データの復職日が入力されていて開始日が入力されていない社員が存在しない。</li> <li>・休職データの復職日が開始日以前になっている社員が存在しない。</li> <li>・休職データの休職期間が重複している社員が存在しない。</li> </ul>
社員 - 所属情報		<ul style="list-style-type: none"> <li>・発令日、所属部門が入力されていない異動・配属データがある社員が存在しない。</li> <li>・異動・配属データの発令日が重複している社員が存在しない(主務のデータについて)。</li> </ul>
社員 - 給与データ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・給与データの開始日が重複している社員が存在しない(※未設定の重複も含む)。</li> <li>・給与データの残業単価が -999,999.99 ~ 999,999.99 の範囲外である社員が存在しない。</li> <li>・給与データの欠勤控除単価、または遅早控除単価が 0 ~ 99,999.99 の範囲外である社員が存在しない。</li> </ul>
社員 - 社会保険・雇用保険		<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての社員について、社会保険の「介護保険の設定」が「手動」である。</li> <li>・厚生年金保険の基礎年金番号が、通常形式(XXXX-XXXXXX)とは異なる社員が存在しない。</li> </ul>

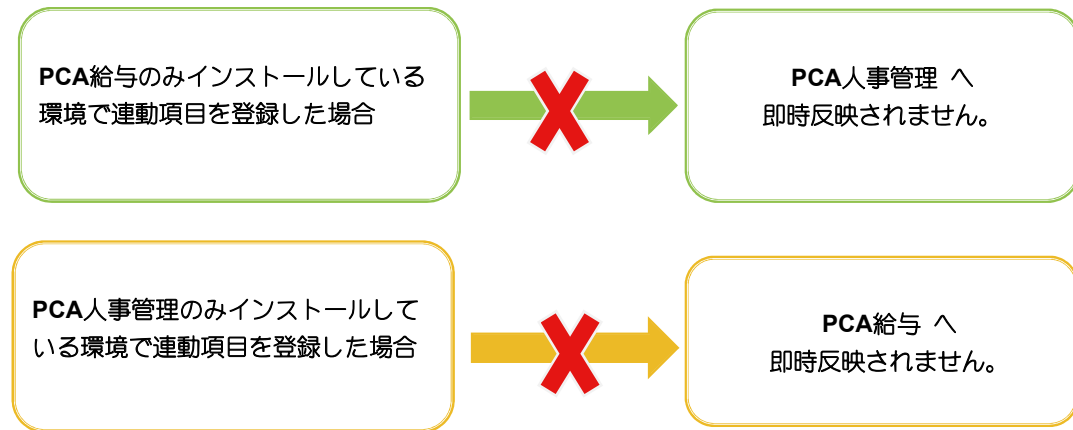
連動マスター	条件	
	PCA給与	PCA人事管理
社員-家族	家族データの氏名(姓)、氏名(名)、生年月日が重複している社員が存在しない。	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族データの氏名(姓)、氏名(名)の両方が入力されていない社員が存在しない。</li> <li>・略称が未設定の続柄が存在しない。</li> <li>・略称が同一の続柄が複数存在しない。</li> <li>・名称が未設定の職業が存在しない。</li> <li>・名称が同一の職業が複数存在しない。</li> </ul> ※続柄、職業については、システム定義マスターでの登録内容の制限です。

## ◆データ連動イメージ

片方のソフトが起動していない場合でも、データは即時反映されます。



## 一方の製品しかインストールしていない環境がある場合の注意事項



一方の製品のみインストールしている環境で連動項目を登録した場合、もう一方の製品のデータには反映することができず、両製品のデータの同期がずれてしまいます。その場合は、両製品がインストールされている環境でPCA給与とPCA人事管理のデータを一致させる必要があります。



一方の製品のみインストールしている環境では、両製品でデータの同期がとれていないことを確認することはできません。

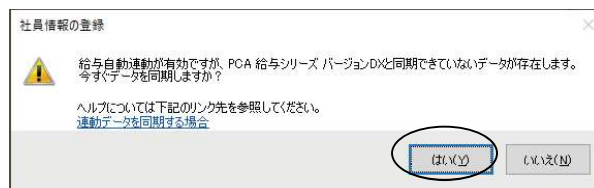
給与・賞与入力を行う前に、両製品がインストールされている環境で「社員情報の登録」を起動し、同期できていない項目がないことを確認してください。

例) 社員 - 給与データの自動連動が有効な場合

①PCA人事管理のみインストールしている環境で、以下の変更、登録を行います。

- ・社員コード0003の社員の基本給を20万円から21万円に変更
- ・社員コード0003の社員に扶養親族を新規登録

②PCA給与、PCA人事管理両製品をインストールしている環境で、「社員」 - 「社員情報の登録」を起動すると、以下のようなメッセージが表示されます。確認の上、データを同期させてください。



③ [詳細] ボタンをクリックします。



④タブごとに表示されている情報を確認し、[実行] ボタンをクリックします。





## ◆マスターごとの連動について

### ◇会社基本情報

PCA給与、PCA人事管理間の双方向のデータ連動で、即時反映されます。

部門コード桁数と社員コード桁数については、会社基本情報の自動連動が無効でも、以下のよう  
に連動します。

- ・部門の自動連動が有効ならば、部門コード桁数について自動連動します。
- ・社員基本情報の自動連動が有効ならば、社員コード桁数について自動連動します。

### ◇役職

PCA給与、PCA人事管理間の双方向のデータ連動で、即時反映されます。

なお、コード「999」の役職は連動対象外です。

PCA給与では、「999 未使用」が初期データとして登録されます。

PCA人事管理では、コード「999」の役職は使用できず、社員の初期値は「未設定」となります。

PCA給与からPCA人事管理に連動するときに、「略称」の値が未設定の場合は、「役職名」の値を  
「略称」に設定してPCA人事管理に反映します。

＜＜削除＞＞

PCA給与：社員データ、月次データ、社員予約データに登録されている役職は削除できません。

PCA人事管理：社員データに登録されている役職は削除できません。

### ◇給与体系・支給控除名

PCA給与からの一方通行で、即時反映されます。

＜＜削除＞＞

PCA給与：部門データ、社員データ、月次データ、社員予約データに登録されている給与体系は  
削除できません。

PCA人事管理：支給控除名の削除はできません。

### ◇部門

PCA給与、PCA人事管理間のデータ連動です。

連動方法は「連動設定」で設定され、双方向、PCA人事管理からの一方通行、PCA給与からの一  
方通行で、即時反映されます。

※PCA人事管理の最新の使用期間のみと連動します。

＜＜削除＞＞

PCA給与：社員データ、月次データ、会計転送データ、社員予約データに登録されている部門は  
削除できません。

PCA人事管理：社員データに登録されている部門は削除できません。

## ◇社員

基本情報、顔写真、住所、住所地図、社会保険・雇用保険、家族、給与データは、双方向でのデータ連動です。

就労情報、所属情報はPCA人事管理からPCA給与への一方通行でのデータ連動です。

※就労情報、所属情報のうち、就労状況、休職区分、退職日、所属部門、役職、給与体系についてはPCA給与の予約データに反映されます。

社会保険・雇用保険の健康保険等級、介護保険対象区分、厚生年金等級はPCA給与からPCA人事管理への一方通行でのデータ連動です。

### ◀新規追加▶

#### ○PCA給与で追加した場合

所属情報、就労情報以外の項目をPCA人事管理に追加します。

#### ○PCA人事管理で追加した場合

所属部門が設定されていない場合は、PCA給与では部門コードの値が最小の部門が自動で設定されます。

### ◀削除▶

PCA給与：月次データ、会計転送データ、特殊会計転送データに登録されている社員は削除できません。

### <住所について>

- ・PCA人事管理の最新履歴のデータのみと連動します。

### <就労情報について>

- ・入社日以外はPCA給与の予約データと連動します。
- ・PCA人事管理で就労状況が「未設定」の場合は、PCA給与では「在職」とします。
- ・PCA給与では、入社日、就労状況、休職区分、退職日の修正登録はできません。

### <所属情報について>

- ・PCA人事管理の主務のデータのみ連動の対象とします。

### <給与データについて>

- ・給与体系は、予約データを介しての双方向のデータ連動で、適時反映します。

※PCA給与の「社員情報の登録」で給与体系を変更した場合、PCA人事管理の給与の最新履歴に即時反映します。

## ◆連動項目一覧

### ◆会社基本情報

PCA給与	PCA人事管理
コード	コード
会社名	会社名
会社フリガナ	会社フリガナ
使用する暦	使用する暦
郵便番号	郵便番号
住所1	住所1
住所2	住所2
住所1フリガナ	住所1フリガナ
住所2フリガナ	住所2フリガナ
TEL	TEL
FAX	FAX
代表者 姓	代表者 姓
代表者 名	代表者 名
代表者 姓フリガナ	代表者フリガナ 姓
代表者 名フリガナ	代表者フリガナ 名
部門コード桁数	部門コード桁数
社員コード桁数	社員コード桁数

### ◆役職

PCA給与	PCA人事管理
コード	コード
役職名	名称

### ◆給与体系・支給控除名

PCA給与	PCA人事管理
コード	コード
給与体系名	給与体系名
支給－印刷用項目名	支給項目名
控除－印刷用項目名	控除項目名
支給－印刷用項目名	控除単価名
支給－印刷用項目名	残業単価名

### ◆部門

PCA給与	PCA人事管理
コード	コード
部門名	部門名
フリガナ	フリガナ
基本給与体系	基本給与体系
階層	階層

### ◆社員情報

PCA給与	PCA人事管理
《基本情報》	
社員コード	コード
氏名(姓)	氏名(姓)
氏名(名)	氏名(名)
フリガナ(姓)	フリガナ(姓)
フリガナ(名)	フリガナ(名)
生年月日	生年月日
性別	性別
旧姓	旧姓
旧姓フリガナ	旧姓フリガナ
《顔写真》	
顔写真	顔写真
《就労情報》	
就労状況	就労状況
入社日	入社日
退職日	退職日
休職区分	休職区分(休職)
《所属情報》	
所属部門 予約データ	所属部門(異動・配属)
役職 予約データ	役職(異動・配属)
役職区分 予約データ	役員区(異動・配属)
《住所》	
郵便番号	郵便番号
住所1	住所1
住所1フリガナ	住所1フリガナ
住所2	住所2
住所2フリガナ	住所2フリガナ
TEL1	TEL1
TEL2	TEL2
FAX	FAX
メールアドレス	メールアドレス1
《住所地図》	
地図	地図

PCA給与	PCA人事管理
《給与データ》	
開始日	開始日
給与体系	給与体系
基本給	基本給
支給項目1~50	支給項目1~50
控除項目1~30	控除項目1~30
残業単価	残業単価
欠勤控除単価	欠勤控除単価
遅早控除単価	遅早控除単価
《社会保険・雇用保険》	
◆健康保険	
健康保険加入	加入(健康保険)
健康保険証番号	健康保険証番号(健康保険)
健康保険等級	健康保険等級(健康保険)
介護保険対象区分	介護保険対象区分(健康保険)
健康保険資格取得日	資格取得日(健康保険)
健康保険資格喪失日	資格喪失日(健康保険)
◆厚生年金保険	
厚生年金加入	加入(厚生年金保険)
厚生年金整理番号	整理番号(厚生年金保険)
厚生年金等級	厚生年金等級(厚生年金保険)
基礎年金番号	基礎年金番号(厚生年金保険)
厚生年金資格取得日	資格取得日(厚生年金保険)
厚生年金資格喪失日	資格喪失日(厚生年金保険)
◆厚生年金基金	
厚生年金基金加入	加入(厚生年金基金)
厚生年金基金加入員番号	加入員番号(厚生年金基金)
厚生年金基金資格取得日	資格取得日(厚生年金基金)
◆雇用保険	
雇用保険被保険者番号	被保険者番号(雇用保険)
雇用保険資格取得日	資格取得日(雇用保険)

PCA給与	PCA人事管理
《家族》	
配偶者	配偶者
氏名(姓)	氏名(姓)
氏名(名)	氏名(名)
フリガナ(姓)	フリガナ(姓)
フリガナ(名)	フリガナ(名)
続柄	続柄
性別	性別
生年月日	生年月日
死亡年月日	死亡年月日
配偶者区分	配偶者区分
扶養区分	扶養区分
障害者区分	障害者区分
職業	職業
備考	備考

※社員の連動項目については、

「社員」－「社員情報の登録」から社員を選択後、「設定」－「給与(人事)連動項目の表示色を変更」－「自動連動」をクリックすると、社員情報の自動連動項目の色を変更することができます。

## 操作手順

自動連動を開始する手順は以下の通りです。

※万が一の場合に備えて、PCA給与、PCA人事管理共に、自動連動するデータ領域を必ずバックアップしてください。

### ◆自動連動セットアップ前の確認

どのマスターについて自動連動を行うのか、確認してください。

既に、手動連動を行っている場合は、担当者間でいつから自動連動に切り替えるかなどの確認が必要です。

※特定のマスターの自動連動を有効にするときに、他のマスターも自動連動を有効にする必要があります(P.3参照)。

### ◆自動連動セットアップ

①連動設定処理\*で、「自動連動を有効にする」にチェックマークを付けます。

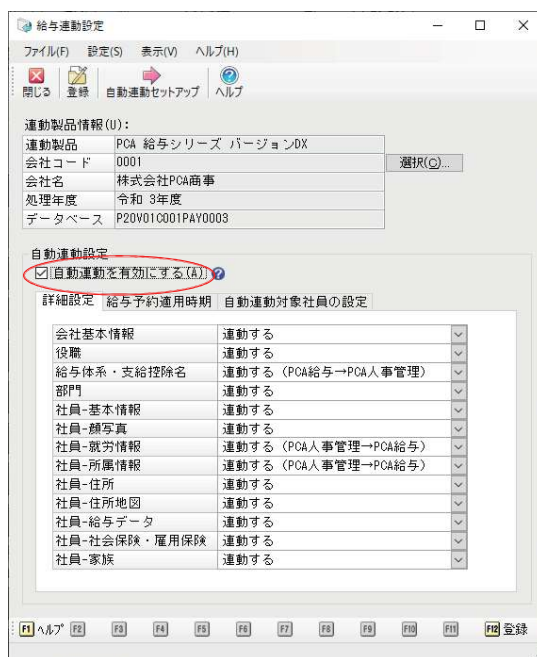
\* PCA給与の「随時」－「人事連動」－「人事連動設定」

PCA人事管理の「随時」－「給与連動」－「給与連動設定」

※どちらか一方のソフトで設定します。両方のソフトでの設定は必要ありません。

※PCA人事管理から実行した場合は、PCA人事管理にのみ登録されている社員を自動連動の対象にするかどうか選択することができます。PCA給与から実行した場合は、PCA人事管理のみに登録されている社員は、必ず自動連動対象外となります。

自動連動の対象としたい社員全員がPCA給与に登録されている場合、PCA給与とPCA人事管理のどちらで連動セットアップをしても問題ありません。



■ 操作手順

- ② 「自動連動設定」の各項目の設定をします。項目の内容については、「設定する項目」P.15をご覧ください。
  - ③ [自動連動セットアップ] ボタンをクリックします。  
※給与予約適用時期の設定のみを変更した場合は、自動連動セットアップ、連動データの同期を再度実行する必要はありません。
  - ④ 自動連動セットアップが終了すると終了画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。
- ※データの同期が必要な場合は、「連動データの同期」P.16を参考に同期させてください。

## 設定する項目



「詳細設定」タブ

項目	項目の説明
会社基本情報	「連動する」「連動しない」から選択します。
役職	「連動する」「連動しない」から選択します。
給与体系・支給控除名	「連動する(PCA給与→PCA人事管理)」「連動しない」から選択します。
部門	「連動する」「連動する(PCA人事管理→PCA給与)」「連動する(PCA給与→PCA人事管理)」「連動しない」から選択します。
社員－基本情報	「連動する」「連動しない」から選択します。
社員－顔写真	「連動する」「連動しない」から選択します。
社員－就労情報	「連動する(PCA人事管理→PCA給与)」「連動しない」から選択します。
社員－所属情報	「連動する(PCA人事管理→PCA給与)」「連動しない」から選択します。
社員－住所	「連動する」「連動しない」から選択します。
社員－住所地図	「連動する」「連動しない」から選択します。
社員－給与データ	「連動する」「連動しない」から選択します。
社員－社会保険・雇用保険	「連動する」「連動しない」から選択します。
社員－家族	「連動する」「連動しない」から選択します。

「給与予約適用時期」タブ：予約種類ごとに適用時期の設定を行います。

「予約データの適用時期について」(P.20)もご覧ください。

項目	項目の説明
予約種類ごとの適用時期：	
就労状況(退職以外)、退職区分	「人事日付」「締日、適用日から計算」「PCA給与で入力」から選択します。
就労状況(退職のみ)、退職日	「人事日付」「人事日付の翌日」「締日、適用日から計算」「PCA給与で入力」から選択します。
所属部門、役職	「人事日付」「締日、適用日から計算」「PCA給与で入力」から選択します。
給与体系	「人事日付」「PCA給与で入力」から選択します。
適用時期計算設定： ※予約種類ごとの適用時期で「締日、適用日から計算」が選択されている場合のみ	
締日	締日を選択します。
適用日	適用日を選択します。
期間内の変更は翌月に適用する	期間内に変更した場合で、変更を翌月から適用する場合にチェックマークを付けます。

「自動連動対象社員の設定」タブ(PCA人事管理の「給与連動設定」のみ)：

項目	項目の説明
自動連動対象外社員	自動連動の対象外となっている社員を自動連動の対象にするための設定を行います。 自動連動の対象にする場合は、社員を選択し、[反映] ボタンをクリックします。 反映を行うと、チェックを付けた社員がPCA給与に登録され、自動連動の対象となります。

## ◆連動データの同期

- ①連動設定処理\*のメニューの「ファイル」－「連動データの同期」をクリックします。  
 ※自動連動セットアップを実行後は、必要に応じて「連動データの同期」画面が表示されます。



- ②タブごとに同期の内容を設定し、[実行] ボタンをクリックします。



「連動データの同期」画面は、PCA給与とPCA人事管理でデータの同期状態がずれているときにマスターを登録する処理を起動した場合にも表示されます。

- !** 「連動データの同期」画面で確認できる情報は、「処理レベルの設定」で設定された「実行」「登録」権限に関係なく実行することができます。  
 PCA給与の「領域ユーザーの登録」で「入力・参照権限」が「勤怠のみ」に設定されているユーザーは「連動データの同期」画面を確認することはできません。

### 「会社基本情報」タブ

内容が異なる項目が表示されますので、反映方向を設定します。

### 「役職」タブ

内容が異なる項目が表示されますので、反映方向を設定します。



## 「給与体系」タブ

反映方向は、PCA給与からPCA人事管理への一方通行のみです。

## 「部門」タブ

内容が異なる項目が表示されますので、反映方向を設定します。

【部門一覧】ボタンをクリックすると、ツリー形式で反映内容を確認できます。

## 「社員」タブ

異なる内容の項目をもつ社員を表示します。

同期を実行しない社員は、チェックマークを外します。



【詳細】ボタンで項目内容を確認できます。



【事前確認】ボタンをクリックすると、変更前後の内容を一覧形式で確認できます。



## 「社員予約」タブ

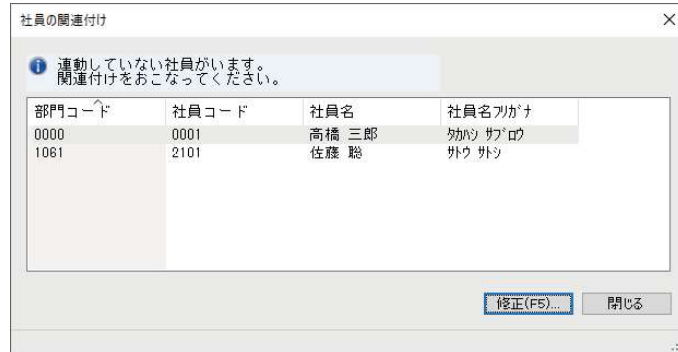
予約を追加する社員にチェックマークを付けます。

③データの同期が終了すると自動連動が開始されます。

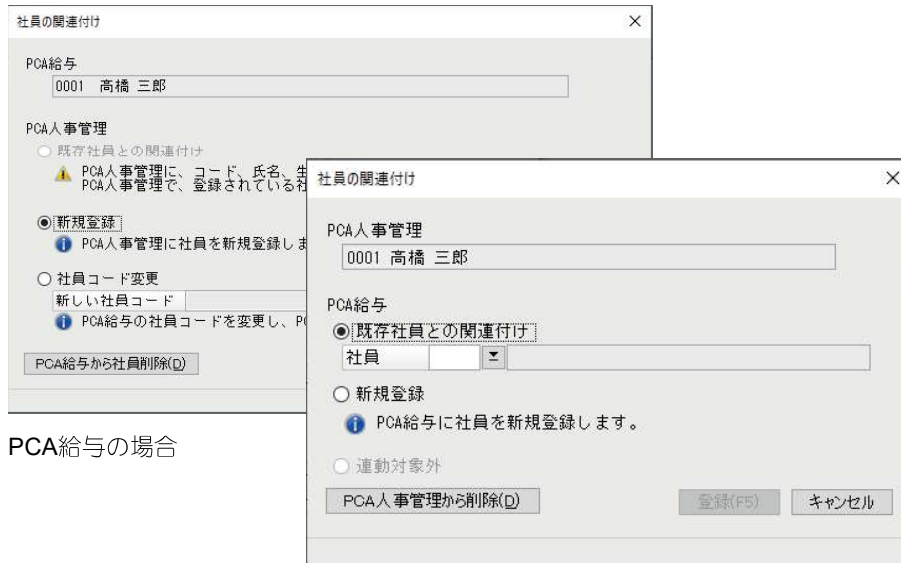
## 社員の関連付けについて

社員の関連付けは、相手が正しく特定できていない状況が発生した際に、連動データの同期前に行います。

- ①連動していない社員の一覧が表示されますので、関連付ける社員を選択し、[修正] ボタンをクリックします。



- ②社員の関連付けをPCA給与で行うか、PCA人事管理で行うかで、画面の設定内容が異なります。それぞれ、項目を設定します。



PCA給与の場合

PCA人事管理の場合

◆PCA給与での関連付け

項目	項目の説明
PCA給与	PCA給与に登録されている社員コード、社員名が表示されます。
PCA人事管理	<p>○既存社員との関連付け：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・領域責任者：コードが一致している社員を表示します。</li> <li>・領域責任者以外：コード、氏名、生年月日が一致している社員を表示します。</li> </ul> <p>○新規登録：PCA人事管理に社員を新規登録します。 ※既存社員との関連付けが無効の場合のみ有効です。</p> <p>○社員コード変更：PCA給与の社員コードを変更し、PCA人事管理に社員を新規登録します。</p>

※ [PCA給与から削除] ボタンをクリックすると、PCA給与から該当社員を削除します。

◆PCA人事管理での関連付け

項目	項目の説明
PCA人事管理	PCA人事管理に登録されている社員コード、社員名が表示されます。
PCA給与	<p>○既存社員との関連付け：[▼] ボタンで、関連付けする社員を選択します。 ※領域責任者以外が起動した場合に同一人物(社員コード、氏名、生年月日が同じデータ)が見つからないときは選択できません。</p> <p>○新規登録：PCA給与に社員を新規登録します。</p> <p>○連動対象外：連動対象外として、PCA人事管理にのみ存在します。</p>

※ [PCA人事管理から削除] ボタンをクリックすると、PCA人事管理から該当社員を削除します。

## ◆ 予約データについて

自動連動により登録されたPCA給与の予約データを更新する場合は、適用時期を設定します。  
連動設定処理\*の「給与予約適用時期」タブで設定します。

## 予約データの適用時期について

「給与予約適用時期」タブにある「予約種類ごとの適用時期」の設定に従って、適用時期の値を登録します。

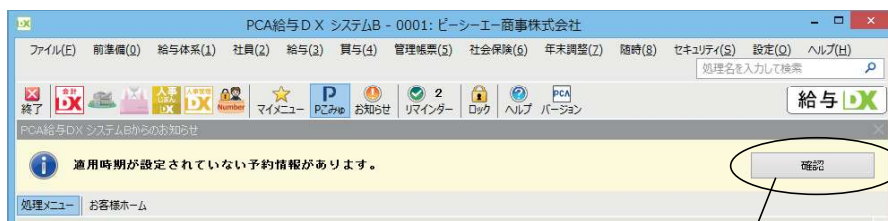
適用時期の設定	適用時期の日付
人事日付	予約データの人事日付と同日
人事日付の翌日	予約データの人事日付の翌日
締日、適用日から計算	「締日」「適用日」「期間内の変更は翌月に適用する」の設定に従って、適用時期の値を計算した日
PCA給与で入力	予約が登録された後に、PCA給与起動時のお知らせ(P.21)や、PCA給与の「社員」-「社員情報の予約登録」で適用時期を設定してください。

○締日、適用日から計算を選択した場合の設定例

マスターの更新期限	設定例	適用時期(具体例)
当月の締日の5日前までには、予約を反映して、マスターを更新しておきたい	<ul style="list-style-type: none"> <li>締日：20日</li> <li>適用日：15日</li> <li>「期間内の変更は翌月に適用する」のチェックは付けない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予約データの範囲：人事日付が20XX/06/21～20XX/07/20のデータ</li> <li>締日：20XX/07/20</li> <li>適用時期：20XX/07/15</li> </ul>
当月の締日の5日後までには、予約を反映して、マスターを更新しておきたい	<ul style="list-style-type: none"> <li>締日：20日</li> <li>適用日：25日</li> <li>「期間内の変更は翌月に適用する」のチェックは付けない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予約データの範囲：人事日付が20XX/06/21～20XX/07/20のデータ</li> <li>締日：20XX/07/20</li> <li>適用時期：20XX/07/25</li> </ul>
給与計算への反映は翌月からなので、翌月締日の5日前までには、予約を反映して、マスターを更新しておきたい	<ul style="list-style-type: none"> <li>締日：20日</li> <li>適用日：15日</li> <li>「期間内の変更は翌月に適用する」のチェックを付ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予約データの範囲：人事日付が20XX/06/21～20XX/07/20のデータ</li> <li>翌月締日：20XX/08/20</li> <li>適用時期：20XX/08/15</li> </ul>

## 予約データを反映するには

適用時期が設定されていない予約がある場合、PCA給与起動時に、以下のようなお知らせが表示されます。

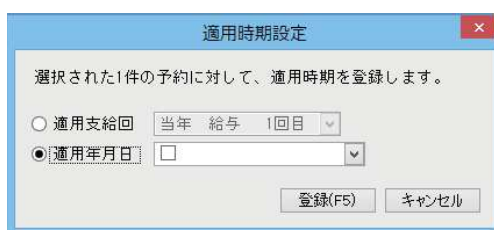


[確認] ボタンをクリックすると、「予約一覧」画面が表示されます。



## 1. 適用時期を設定する

①適用時期を設定する項目にチェックマークを付けて、[適用時期設定] ボタンをクリックすると、「適用時期設定」画面が表示されます。

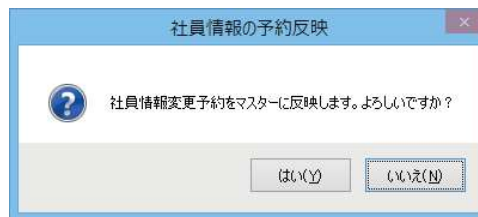


## 2. 予約を反映する

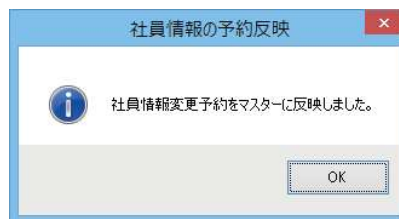
- ① 予約を反映する項目にチェックマークを付けて、[予約反映] ボタンをクリックすると、「社員情報の予約反映」画面が表示されます。

部門コード	社員コード	社員名	人事日付	適用時期	項目名	現在	予約
000	0001	千代田 太郎	平成29年 9月 1日	平成29年11月10日	所属部門	000 共通部門	301 開発1課
			平成29年 9月 1日	平成29年 9月 1日	役職	999 未使用	000 代表取締役会
000	0002	高橋 三郎	平成29年 9月 1日	平成29年 9月 1日	所属部門	000 共通部門	201 営業1課
			平成29年 9月 1日	平成29年 9月 1日	役職	999 未使用	005 代表取締役社

- ② [実行] ボタンをクリックすると、確認画面が表示されますので、[はい] をクリックします。反映しない場合は、[いいえ] をクリックします。



- ③ 以下の画面が表示されると、反映完了です。



## 排他処理について

自動連動が有効な場合、一方のソフトで使用している処理については、他方のソフトでは使用できません。

実行中の処理、ロック中のデータについては、メニューの「セキュリティ」－「運用状況の確認」で確認できます。

連動先のソフトで使用しているユーザー名は「人事・給与連携アカウント」と表示されます。詳しくは、ヘルプをご覧ください。

The screenshot shows two overlapping windows of the '運用状況の確認' application. The top window displays a table with columns: データ領域 (Data Area), 処理名 (Process Name), ユーザー名 (User Name), and コンピュータ名 (Computer Name). The bottom window displays a table with columns: 処理名 (Process Name), 固有番号 (Unique ID), 詳細 (Details), ユーザー名 (User Name), and コンピ (Computer Name). A callout box points to the process name 'PCA 人事管理シリーズ...' in the bottom window, stating: '連動製品で使用されている場合は、処理名の後に連動製品が表示されます。' (If used in a linked product, the linked product is displayed after the process name.)

データ領域	処理名	ユーザー名	コンピュータ名
P20V01C001PAY...	社員情報の登録	PCA 人事管理シリーズ...	4140E03
P20V01C001PAY...	運用状況の確認	人事・給与連携アカウント	4140E03

処理名	固有番号	詳細	ユーザー名	コンピ
社員情報の登録	PCA 人事管理シリーズ...	社員情報 1003 桜庭...	人事・給与連携アカウント	4140E0

連動製品で使用されている場合は、処理名の後に連動製品が表示されます。

## 自動連動Q&A(こんな場合には)

ここでは、自動連動の操作に関する疑問を、Q&A形式でご紹介いたします。

- \* 連動設定処理とは、PCA給与では「随時」－「人事連動」－「人事連動設定」、PCA人事管理では「随時」－「給与連動」－「給与連動設定」の処理です。

### Q1. PCA 給与で年度更新をした後、過年度のデータを修正したいのですが？

- A1.** 年次更新をした場合、自動連動の対象は最新年度のデータ領域となります。  
また、最新年度以外との連動はできません。

過年度の連動項目を修正したい場合は、下記のいずれかの方法にて修正を行ってください。

#### 方法1

- ①修正したい領域で、「自動連動を有効にする」のチェックを入れずに、修正します。  
※過年度の領域で変更された内容は、PCA人事管理にも、最新年度の給与領域にも反映されませんので、必要に応じて、最新年度のデータ領域でも修正を行ってください。

#### 方法2

- ①年次更新後のデータ領域を削除します。  
②年次更新前のデータ領域で「自動連動セットアップ」を実行し、修正を行います。  
③再度、年次更新を実行します。

### Q2. 「データ領域のリカバリ」「データ領域の一括リカバリ」をしたら、自動連動ができなくなってしまうのですが？

- A2.** 新規領域にリカバリした場合には、リカバリを実行した時点で自動連動が無効になります。自動連動を有効にしたい場合は、連動設定処理\*で改めて自動連動を有効にしてください。

### Q3. 「データ領域の作成」で、複写をしたら、自動連動ができなくなってしまうのですが？

- A3.** 自動連動が有効なデータ領域を複写した場合には、自動連動が無効になります。自動連動を有効にしたい場合は、連動設定処理\*で改めて自動連動を有効にしてください。

### Q4. PCA 人事管理で部門マスターの未来の変更を、事前に登録したいのですが？

- A4.** PCA 人事管理で、部門マスターの未来の変更を登録した時点で PCA 給与に即時反映されます。そのため、PCA 人事管理における未来の使用期間の変更は、PCA 給与の運用に支障がない範囲で行う必要があります。

例)

未来の4月1日から部門Aの給与体系が変更される場合、3月31日までの期間の部門Aの給与計算が完了してから、部門Aの当該変更を登録する必要があります。仮に「月末締め翌月15日払い」の会社で(部門マスターの自動連動を有効にして運用している場合には、)この例だと事前登録はできないこととなります。



**Q5. パソコンを入れ替えたいのですが？**

**A5.** 以下の手順で行います。

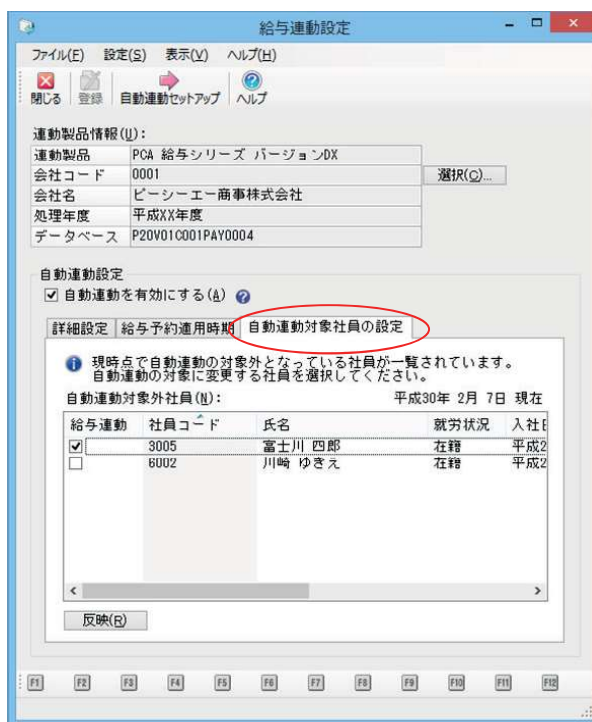
各 PCA ソフトの「セットアップ説明書」の「運用開始後のサーバー、パソコンの入れ替えについて」を合わせてご確認ください。

【入れ替え手順】

- ①PCA給与、PCA人事管理それぞれでデータのバックアップを行います。
- ②各PCAソフトの「セットアップ説明書」の「運用開始後のサーバー、パソコンの入れ替えについて」をご確認の上、サーバー、パソコンの入れ替えを行います。
- ③PCA給与、PCA人事管理をセットアップ後、テスト領域を作成しバックアップデータをリカバリします。
- ④どちらかの連動設定処理\*で、連動領域を設定しなおして、連動セットアップを実行します。

**Q6. 自動連動対象外の社員を自動連動の対象にしたいのですが？**

**A6.** PCA 人事管理の「随時」－「給与連動」－「給与連動設定」の「自動連動対象社員の設定」タブで自動連動の対象として反映します。



■ Q&A

**Q7.** 領域責任者が不在で、自動連動処理ができないため、作業が進められない状態になってしまいました。

**A7.** そのような状況でも、どうしても業務上作業を続行する必要がある場合は、一時的に自動連動を無効にして作業を進めることは可能です。

「ファイル」－「データ領域の作成」でデータ領域を複製して、複製先のデータ領域で作業を進めます。その後、作業を行ったデータ領域と自動連動設定を行います。

**Q8.** 「同期してください。」のメッセージが表示されて、同期画面が自動表示されないのですが？

**A8.** 連動データの同期画面が自動表示されなかった場合は、「社員情報の登録」を起動します。

「今すぐデータを同期しますか？」と表示されますので、「はい」を選択して、同期がとれていないデータを修正してください。

